

Tenox REPORT

44th

環境と共存し、確かな技術力で
社会と暮らしを支える

第44期 株主通信

平成25年4月1日～平成26年3月31日

トップインタビュー
増収増益となった
5つの要因と
今後の事業展開について

News & Topics

戸建て住宅向け
地盤補強
『ピュアパイル工法』について

証券コード 1905

株式会社テノックス

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先・ 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	1,000株
証券コード	1905
公告掲載 URL	http://www.pronexus.co.jp/koukoku/1905/1905.html 当社の公告は電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 東京都内において発行する日本経済新聞に掲載 して行います。



〒108-8380
東京都港区芝五丁目25番11号 ヒューリック三田ビル 5F

News & Topics

戸建て住宅向け工法でシェア拡大

新技術の開発により誕生した戸建て住宅向け地盤補強『ピュアパイル工法』が販売開始から4年。高い品質と低コストで市場から認知され、今期は4,400棟におよぶ実績をあげることができました。優れた特長をもつピュアパイル工法で、安全・安心の暮らしを長く支えてまいります。

『ピュアパイル工法』4つの特長

1

柱状改良工法より
3倍強い



土と混ぜないため、
高強度で安定した品質です。

2

工期は柱状改良工法の
約半分



土をかき混ぜないため、
施工スピードが速く経済的。

3

残土無しで、経済的で
環境にやさしい



残土処分が不要なので
費用がかからず、
環境にもやさしい工法です。

4

性能が
証明されています



建築技術性能証明*を取得。
高い社会的評価を
得ています。

*一般財団法人日本建築総合試験所による証明



代表取締役社長
徳永 克次

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。株主の皆様にご直接当社の経営状況をお伝えするために発行しております株主通信「Tenox REPORT」、第2号では、平成25年度の業績をご報告させていただくとともに、今後の事業展開についてご説明申し上げます。

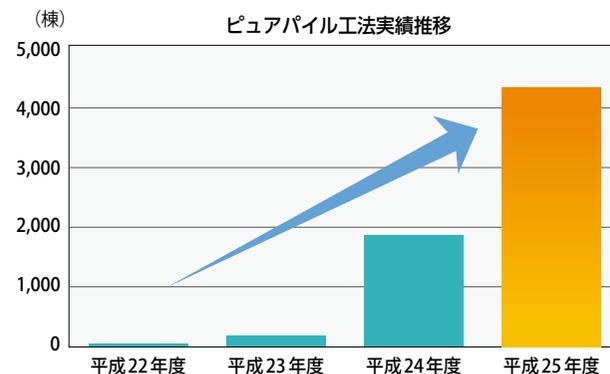
まずは、平成25年度は、住宅投資や公共投資が堅調に推移し、民間設備投資も緩やかに回復しました。このような状況の下、弊社グループの業績は売上高215億97百万円、経常利益13億94百万円と前年度を大きく上回る実績をあげることができました。

増収増益となった5つの要因

- ① 大型物流倉庫・住宅関連工事等、建築工事物件の受注増加
- ② 国の財政出動による道路工事需要の増加
道路橋の基礎として発注された鋼管杭工法の受注が好調
- ③ 震災復興の本格化
宮城県の災害公営住宅、岩手県の防潮堤および水門等の大型工事を受注
- ④ 戸建て住宅向け地盤補強『ピュアパイル工法』の事業基盤拡大
- ⑤ 耐震に係る設計・解析業務の増加

戸建て住宅地盤補強の『ピュアパイル工法』が躍進

戸建て住宅向け地盤補強の『ピュアパイル工法』は、品質・コストなどの面で優れた工法であることが広く認知され、本工法取扱施工店様の増加もあり、平成25年度は4,400棟に迫る実績となりました。



大型工事を多数受注 施工技術を進化させ新たな市場を開拓

平成26年度は大型工事の施工へ挑んでまいります。今期に入って東京中央卸売市場の豊洲への移転計画では、弊社の鋼管杭工法が採用されました。また、トラックターミナル建て替え工事やLNGタンク基礎工事など高い技術力と施工力が求められる工事を無事終える事ができました。引き続き、施工技術を進化させ、より高度な技術力と施工力が求められる工事や、これまで施工領域外にありました工事にも積極的に取り組み、業績の拡大に繋げてまいります。

ベトナムを足掛かりにグローバル化を模索 国内では維持・更新・補修分野に視野拡大

海外では、ベトナムでの基礎工事業が高く評価されたことで業容が拡大しております。今後はベトナムを起点として、ASEAN諸国の社会インフラ整備に貢献していきたいと考えております。その一環として、新年度からは弊社の社員を現地に常駐させ、建設市場調査を行っていく計画であります。一方、国内では、今後増加が見込まれる道路などの社会資本の維持・更新・補修分野を視野に入れた事業展開を通じ、安定した事業基盤の拡充を図ってまいりたいと考えております。

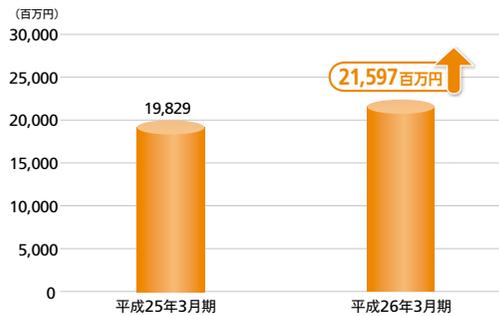
経営基盤を固める施策を展開 次世代を担う人材を育成

弊社といたしましては、従来のパートナー企業各社様との円滑な協力関係に加え、今後は、昨年11月末に株式の相互保有を行った太洋基礎工業株式会社様との関係を一層強化してまいります。また、社内では人材育成にも注力してまいりました。次世代を担う経営者層の人材育成は重要な経営課題であり、引き続き取り組んでまいります。

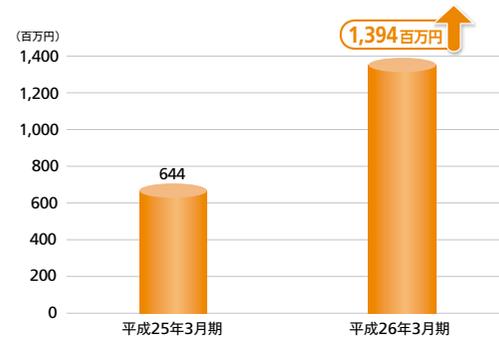
変化の激しい事業環境の中ではありますが、弊社グループは以上のような方針に基づいて経営を推し進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き弊社グループへのご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

売上高



経常利益



当期純利益・1株当たり当期純利益



連結貸借対照表

(単位：千円)

	前期末 平成25年3月31日現在	当期末 平成26年3月31日現在
● 資産の部		
流動資産	12,546,640	13,623,999
固定資産	2,403,197	2,812,543
有形固定資産	1,888,726	2,201,238
無形固定資産	124,440	114,812
投資その他の資産	390,029	496,492
資産合計	14,949,837	16,436,543
● 負債の部		
流動負債	5,432,787	6,277,902
固定負債	1,691,608	1,336,404
負債合計	7,124,396	7,614,306
● 純資産の部		
株主資本	7,638,388	8,189,133
資本金	1,710,900	1,710,900
資本剰余金	2,330,219	2,346,319
利益剰余金	3,956,338	4,411,515
自己株式	△359,069	△279,600
その他の包括利益累計額	8,933	47,123
その他有価証券評価差額金	18,286	49,060
為替換算調整勘定	△9,353	△1,936
新株予約権	—	16,058
少数株主持分	178,119	569,921
純資産合計	7,825,441	8,822,236
負債純資産合計	14,949,837	16,436,543

連結損益計算書

(単位：千円)

	前期末 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	当期末 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	19,829,861	21,597,197
売上原価	17,338,816	18,303,955
売上総利益	2,491,044	3,293,241
販売費及び一般管理費	1,946,145	1,982,903
営業利益	544,898	1,310,338
営業外収益	138,394	135,141
営業外費用	38,983	51,366
経常利益	644,309	1,394,113
特別利益	210,916	51,413
特別損失	215,998	24,757
税金等調整前当期純利益	639,227	1,420,769
法人税等	60,183	500,357
少数株主損益調整前当期純利益	579,043	920,412
少数株主利益	80,782	398,545
当期純利益	498,261	521,867

自己資本比率（連結）

	前期末 平成25年3月31日現在	当期末 平成26年3月31日現在
自己資本比率（連結）	51.2%	50.1%

■ 会社概要 (平成26年3月31日現在)

商号	株式会社テノックス
設立	昭和45年7月8日
資本金	17億1,090万円
従業員数	397人(連結)

■ 役員体制 (平成26年6月27日現在)

役員	代表取締役社長	徳永 克次	執行役員	坂口 卓也
	取締役常務執行役員	金丸 英二	執行役員	斎藤 光則
	取締役執行役員	田中 啓三	執行役員	齋藤 貴
	取締役	菱山 保	執行役員	高橋 勝規
	常勤監査役	神林 昭夫	執行役員	堀切 節
	監査役	藍田 耕毅	執行役員	倉島 孝
	監査役	竹口 圭輔		

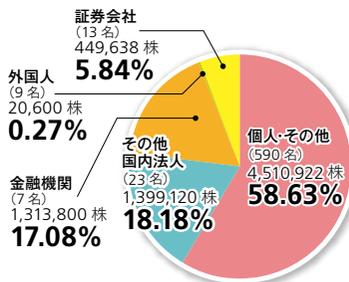
※1. 監査役藍田耕毅氏および監査役竹口圭輔氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

※2. 監査役藍田耕毅氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

■ 株式の状況

(平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数 21,640,000株
 発行済株式総数 6,896,315株
 (自己株式797,765株を除く)
 株主数 642名



株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
住商セメント株式会社	432,000	6.26
株式会社みずほ銀行	331,980	4.81
テノックス従業員持株会	323,940	4.69
三菱商事株式会社	317,020	4.59
明治安田生命保険相互会社	253,000	3.66
樽澤憲行	233,840	3.39
大洋基礎工業株式会社	230,000	3.33
重田寛治	223,840	3.24
株式会社三井住友銀行	220,220	3.19
三井住友信託銀行株式会社	220,000	3.19

※当社は自己株式を797,765株保有しておりますが、上記大株主より除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

津波被害を受けた陸前高田と釜石の災害復旧工事を担当



東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた各地の海岸では、防潮堤や防波堤の災害復旧工事が進んでおり、より減災効果の高い、粘り強い構造が採用されています。当社も重要な復興支援の一環として、基礎部分の工事を担当しております。

■ 岩手県陸前高田市・高田地区海岸災害復旧工事

高田地区海岸周辺は、震災の津波によって防潮堤と「奇跡の一本松」で有名となった松原が消失し、地盤沈下が発生しました。今回の災害復旧工事は、平成25年3月にスタート、第一線堤と第二線堤を整備し、砂浜と松原も復元する予定です。

■ 岩手県釜石市・釜石港須賀地区災害復旧工事

釜石湾では、津波で湾口防波堤の大部分が崩壊しました。北堤と南堤、開口部の潜堤からなる湾口防波堤と湾岸防潮堤の復旧工事は平成24年にスタートしています。

当社は浜田川水門の杭工事を担当



当社は防潮堤復旧工事の杭工事を担当

